

## 第2章 大綱の概要

### 1.大綱の基本理念

「ひとの創生、地域の創生」を推進する湖南省の実現

### 2.大綱の位置づけ

第三次湖南省行政改革大綱（以下「大綱」という。）は、第二次湖南省総合計画に掲げる基本構想の「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南」を実現する施策として、『地域創生の理念に沿った市民が主役のまちづくり』を目指し、湖南省における行財政改革の方針を定めるものです。

### 3.大綱の取組期間

大綱の取組期間は、第二次湖南省総合計画の前期計画との整合性を図ることから、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

### 4.大綱の目標

大綱の基本理念に基づき、様々な施策、事業を社会情勢に応じて再構築し、次世代に残したいまちの実現に向けて第3章に掲げる改革項目の確実な達成を目標とします。

## 5.改革の視点

人口減少に歯止めをかけ、湖南省の活力向上を図り、人と地域とまちが輝くことを実現するための貴重な財源、人材、環境を生み出すための行財政改革が必要です。今後の収支計画にも示されたように、湖南省の健全な行政運営を目指し改革を実現するにあたって、以下の視点に取り組んでいきます。

### 第1の視点 協働・連携の視点

- ・市民・事業者・行政の協働・連携によって、地域創生事業の実施を行うなど新たな取組みを進め、市民協働のまちづくりを推進します。
- ・【まちの将来像】  
自分たちでできること「自助」、地域における住民・地縁団体・NPO・企業など多様な担い手による「共助」とともに行政の支援「公助」の協働・連携の仕組みをつくりまします。

### 第2の視点 市民主体の視点

- ・市民が利用しやすい情報の提供や行政の透明性の向上を図り、市民の活動をサポートする効率的・効果的な公共サービスの提供を行います。
- ・【まちの将来像】  
活気と希望にあふれ、子どもが健やかに成長できる、快適で暮らしやすい安心・安全な暮らしを創造します。

### 第3の視点 行財政改革の視点

- ・コスト情報、財政状況を市民と共有し、事務事業、公共施設等の改革を進めて安定した財政基盤を確保し、持続可能な財政運営、財政の健全化を目指します。
- ・【まちの将来像】  
快適な都市としての基盤を整え、将来の市民と湖南省を支えていく体制を構築します。